

ぱる・よどがわ・なら
組合員さんの

岩手ボランティアバス 参加者募集

ご家族や
お友だちと一緒に
お一人様でもぜひ



被災地の今を知り、応援するためのボランティアバスです

\\2014年度の「岩手ボランティアバス」募集はこちら！\\

2014年度 最終回	実施日	定員	申し込み電話締切日	参加費
第16回目	3/11(水)~3/14(土)	30	2/13(金)	お一人(中学生以上) 12,700円 ※小学生は参加いただけません

\\直近の「東北応援バス」募集はこちら！\\

2015年度は 年間7回	実施日	定員	申し込み電話締切日	参加費
第1回目	3/27(金)~3/30(月)	60	2/27(金)	お一人(中学生以上) 12,700円 (小学5・6年生) 9,700円 ※小学生はかならず保護者同伴で ※4月から新5年生になる方は含みません

※1回目以降の年間予定は今週配布の別チラシをご覧ください



第10回の活動の様子
(2014年10月)

2015年度からの新名称は ~私たちは忘れない~ 東北応援バス

東日本大震災から約3年11カ月が経ちます。被災地の復興はすすめられてきていますが、被災者の方々の復興には、まだまだ時間がかかります。

2015年度は、「~私たちは忘れない~東北応援バス」に名称を改め、引きつづき3生協(パルコープ・よどがわ市民生協・ならコープ)の組合員さんの参加を募ります。

また、組合員さんのお声より、第1回(3/27~)から小学校高学年(5・6年生)のお子さんも保護者と一緒に参加していただけます。

【申し込み・問い合わせ】 パルコープ組合員活動部 ☎06-6242-0904 (月~土 9時~18時)

<申込み方法>

今までに参加された方も、申し込みを受け付けています。定員を超えた場合は抽選となります(初めての方が優先です)。

- 【行程】3泊4日(車中2泊)
大型観光バスで行きます
- 1日目 パルコープ本部(京橋)集合(18時)
(バスで移動、車中泊)
 - 2日目 岩手県9時頃着、ボランティア活動、被災地視察 (夜は宿舎泊)
 - 3日目 ボランティア活動(バスで帰阪、車中泊)
 - 4日目 パルコープ本部前到着(8時頃予定)

【参加条件】組合員さん、及びその家族。複数名参加可
*活動の内容と場所は、現地での要請に基づきます
*持ち物などの詳細は別途、参加者にご案内します
*宿舎は男女別・相部屋です
*参加費には、ボランティア保険・宿泊費などを含みます
*天候不順や人数が満たない場合中止になることがあります

「津波で被害に遭わないために、日頃から避難について心がけを」。現地からのメッセージを受け、自分たちで何ができるか考えさせられました。仮設住宅で行なった「たこ焼きをひっくり返して焼く」とは。熱心にたこ焼きをひっくり返していた様子が印象的でした。これからは何かにつけ機会があれば、遠くまで東北に足を運ぼうと思いをしました。

(港区・奥沢さん)



小槌第16仮設住宅の「たこ焼きお振舞い」。みんなで楽しく「はい、ポーズ！」



NO.62

被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を

被災地・陸前高田市での「自然と共に後世に語り継ぐ」とりくみを紹介します。

一つ目は、市内の津波到達点上に桜を植樹し、震災を後世に伝える為のプロジェクト(主催:認定NPO桜ライン311)です。若者たちと一緒に植樹体験が防災・減災への意義や行動につながる機会になってほしいとの思いで進められています。

二つ目は、元々2km・約7万本とも言われた松林を市民と全国から支援する方々が一緒になって地域全体の再生を願った「高田松原を守る会」のとりくみ。現在は、松原が望めた箱根山の中腹で松の苗木が育てられています。

三つ目は、椿油プロジェクトです。三陸沿岸は椿の北限で防風林や防潮林として家のまわりに椿を植え、その油を搾って利用されてきたという歴史があったそうです。地域循環型の生業は自立の鍵にもなるとの想いです。

津波の驚異とともに自然の恵みを後世に残し伝えることは、人工物にない「地道で息の長いとりくみ」だからこそ、語り継がれるのではないのでしょうか。私たちの東北支援ボランティアは「東北応援バス」と名称変更し、2015年も被災地へ応援を続け学びたいと思います。

(岩手県遠野市に常駐する
パルコープボランティア事務局・林さんより)



ぱる・よどがわ・なら
組合員さんの

2014年度 第13回 岩手ボランティアバス報告

(11月10日~13日) 19名参加

第13回はバス1台で出発。1日目は陸前高田市・上長部の郷でソバを脱穀しました。2日目は大槌町の3カ所の仮設住宅に分かれ、いわて生協さんの「ふれあいサロン」にご一緒し、たこ焼きを焼いて地元のみなさんに楽しんでいただきました。

2013年のクリスマス時期に訪れて以来となりましたが、陸前高田の街は、土盛事業の関係のダンブカーでいっぱい姿でした。(大槌町では)仮設住宅でふれあい交流が根付いていることを強く感じ、私たちも共に交流ができたことを喜んでいました。これからも寄りそう活動のため、現地に「こうと」感じた今回の活動でした。
(枚方市・宮富さん)



被災した「タピック45」の駐車場(国道45号沿い)に立てられている看板には「夢ある未来に願いをこめて」のメッセージが

陸前高田市で「語り部」をされている釘子さん(上)



ずっとボラの会(ボランティアバス参加者の有志の会)よりお知らせ

ずっとボラの会ではパルコープの店舗で「東北復興応援グッズ販売」をしています。ぜひ、お立ち寄りください。

日程	会場	時間は
2月8日(日)	星ヶ丘店	10時~15時
3月1日(日)	忍ヶ丘店	です。

パルコープの店舗一覧はこちら。
<http://www.palcoop.or.jp/shopping/shop/index.html>

店頭で東北グッズ販売などを行いました。
◎枚方公園店(12月7日)
売上げ59,160円 募金5,782円

ご協力ありがとうございます

東北支援募金の状況(2014年3月21日~2014年12月20日)
12,500,946円 (この金額には2013年度繰越金・注文書での募金・店舗などに設置の募金箱・ずっとボラの会での物販などを含みます)

パル子のお店新発見

おおさかパルコープには8つのお店があります。今回は西くずは店で行われている「店頭夕市」の様子をご紹介します。

◆毎週金曜日は「名物おっちゃん」たちに会いに来てね◆

「いらっしゃいませー!!」威勢のいい声が店頭で響き渡り、その声に引き寄せられるように組合員さんがぞくぞくと集まってきました。

毎週金曜日、西くずは店では野菜や果物がお買い得の『店頭夕市』(夏場:16時~冬場:15時~)を行なっています。開始10分前には約40人ほどの列が。「はい、どうぞ!!」との合図を皮切りに、販売がスタート!!

切り盛りしているのは普段から西くずは店で働く東さんと高木さん。手際よく商品を袋に詰めながら、組合員さんとの会話ははずみます。

「毎週末来るよ。これが楽しみで僕の生きがい!!」「毎週金曜日はこのためにお店に来るよ。30分前にはいつも来てるよ」と、買いに来られた組合員さん。お店でのお買い物はもちろん、東さんや高木さんに会うときっと元気ももらえますよ♪



開始とともに大盛況☆

通りの向こうにいる人にも振り向いてもらおうつもりで、熱意を込めて声を出しています!!
(東さん)

組合員さんに気持ちよく買っていただけるように、待ち時間も退屈にならないよう組合員さんとの掛け合いを大切にしています。
(高木さん)



↑「おしらせメール」の会員登録はコチラ



【パルコープのお店情報と今週のチラシ情報はHPをご覧ください】<http://www.palcoop.or.jp/shopping/shop/index.html>
【パルコープのお店のご利用】は共同購入の組合員さんなら、各店舗サービスカウンターで無料で「ぱるのんカード」をお作りします。その日のお買物分からポイントがつき、パルコープの全ての店舗共通でご利用できます。(組合員コードが分かればスムーズです)